

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 実績報告 及び 実施計画

【目指す姿】 高齢者ができる限り長い期間、在宅で自立した生活ができること

1 令和7年度実績報告

(1) ハイリスクアプローチ（訪問や電話による相談・保健指導）＊外部委託

①対象者

- ・ 低栄養に陥る可能性のある者
- ・ 生活習慣病（糖尿病、高血圧症）の未治療によるコントロール不良者及び治療中断者
- ・ 重複受診者、頻回受診者、重複投薬者及び多剤投与者
- ・ 健診、医療、介護の利用情報がない健康状態不明者

②実績

	令和7年度			(参考) 令和6年度		
	対象者数	実施者数	実施率	対象者数	実施者数	実施率
低栄養	112	17	15.2%	105	17	16.2%
生活習慣病の重症化予防	207	61	29.5%	234	57	24.4%
重複受診・頻回受診等	150	62	41.3%	133	34	25.6%
健康状態不明者	349	273	78.2%	313	255	81.5%
計	818	413	50.5%	785	363	46.2%

(2) ポピュレーションアプローチ

①実施内容

- ・ フレイル予防（運動・栄養・口腔・服薬等）に関する健康教育・健康相談
- ・ 「後期高齢者の質問票」を使ったフレイル状態の把握、生活習慣に関する保健指導や、生活機能向上に向けた支援
- ・ 高齢者の健康に関する相談や不安等について日常的に気軽に相談が行える環境づくり

②実績

	令和7年度		(参考) 令和6年度	
	実施箇所数	参加延べ人数	実施箇所数	参加延べ人数
介護予防教室（高齢者支援センター）	79	7,137	77	6,738
集いの場（介護予防センター）	1	6,153		
健康教室・健康相談（健康づくり推進課）	42	977	41	1,071
計	122	14,267	118	7,809

※令和7年度より介護予防センターで開催されている集いの場の実績を追加。

2 令和8年度実施計画

- ・ 取組項目は、令和7年度と同様に実施。
- ・ ハイリスクアプローチの生活習慣病重症化予防に該当する対象者については、実施率向上に向けてアプローチ回数を増やし、取り組みを強化する。
- ・ 高齢者支援センター及び関係課（高齢福祉課、介護予防センター、健康づくり推進課）と連携・協力しながら取組を進める。